学生相談機関のウェブサイト上における情報発信¹

東京・ソウル・台北・香港の学生相談機関の情報発信のスタイルの比較

伊藤直樹

(明治大学文学部)

キーワード: 学生相談機関, ウェブサイト, 国際比較研究

Information on student counseling center websites in Tokyo, Seoul, Taipei, and Hong Kong

Naoki ITO

(School of Arts and Letters, Meiji Univ.)

Key Words: university counseling center, website, international comparative study

目 的

大学の学生相談機関のウェブサイトは、在籍学生だけでなく、教職員、学生の家族等を対象に多様な情報を発信する媒体となっている。伊藤(2017)は、日本・アメリカ・イギリス・台湾の学生相談機関のウェブサイト上における情報発信を分析し、各国の情報発信のスタイルの相違がその国の学生相談の状況を反映している可能性を示した。国際的な比較からは、ウェブサイトを通じた情報発信が自国の条件により規定されていることが明らかとなり、学生相談における情報発信の一層の充実のための有益な示唆が得られると考えられる。

本研究は、比較的共通点が多い文化圏に属すると考えられる東アジア地域、特に、東京・ソウル・台北・香港の学生相談機関に焦点を当て、学生相談機関のウェブサイト上における情報発信を比較することにより、各国の学生相談の情報発信のあり方を分析することを目的として行われた。

方 法

調査の概要

2017年9月から2018年2月に東京・ソウル・台北・香港の大学の学生相談機関のウェブサイトを対象に調査を実施した。具体的には、大学基準協会加盟正会員大学であり本部が東京23区内にある48大学、ソウル、台北、香港各市内にキャンパスがある25学、27大学、13大学を対象とし、各大学の公式ウェブサイトの学生相談機関のページを閲覧し、伊藤(2017)により選択した58情報カテゴリの有無を調査した。

結 果

学生相談機関の情報発信スタイルの次元の抽出

Figure 1 東京・台北・ソウル・香港の学生相談機関のプロット図。

学生相談機関独自のページがない東京3大学、香港4大学を除き、各情報カテゴリの掲載がある場合を「2」、ない場合を「1」として、多重応答分析により次元を抽出した。情報カテゴリの分布から次元1を「多様なサービスに関する情報の提供度」、次元2を「利用に必要な情報の詳細度」と解釈した。

各都市の学生相談機関の散布図の作成

各学生相談機関のオブジェクトスコアにより散布図を作成した(Figure 1)。東京は「多様なサービスに関する情報の提供度」が小さい領域に、ソウルは多くが「多様なサービスに関する情報の提供度」が中程度の領域に、台北は「多様なサービスに関する情報の提供度」「利用に必要な情報の詳細度」がともに大きい領域に、香港は「利用に必要な情報の詳細度」が小さい領域に布置する傾向が見られた。

考 察

本研究により、同じ東アジア地域に位置する都市であっても、学生相談機関の情報発信のスタイルが異なることが示唆された。この相違は、各都市の大学における学生相談機関の活動の特徴を反映したものである可能性がある。ただし、本研究は学生相談そのものを分析したわけではなく、ウェブサイトを通じた分析であるという限界を有している。今後は、この相違が各都市の学生相談の実際をどのように反映したものであるのか、実地調査等を含めて分析する必要がある。

引用文献

伊藤直樹 (2017). ウェブサイト上における日・米・英・台の学生相談機関の情報発信 心理学研究, 88, 79-85.

¹本研究は JSPS 科研費 JP17K04464 の助成を受けて行われた。